

元内閣府副大臣・衆議院議員

平沢勝栄

収録日時：2002年



田中眞紀子外務大臣の更迭問題で揺れていた当時「これは単なる政局ではなく『官と政』の縮図である」と鋭く捉えて問題提起しておられました。

■司会 田中眞紀子外務大臣が更迭されてから、平沢さんは田中眞紀子応援団としてテレビに出られていますね。

■平沢 私は眞紀子さんの応援団ではないですよ。良いところは良い、悪いところは悪い。今回の更迭劇について言えば、田中さんは正しい、外務省と鈴木宗男さんがおかしい、と言っているだけです。集中審議が混乱する可能性があるのですが、自民党内ではやりたくないという空気もありますが、私はやらなければならぬと繰り返し申し上げています。これは鈴木さんと田中さんの問題という以上に、官と政の関係です。同じような構図は農水省、国交省でもありますが、今回は外務省と政治家の関係で見て来たわけです。この問題の真相にフタをして「きちんとした政治をやります」などと言っても、国民のみ

なさんは信用しませんよ。

いち議員のひと言で全てが決まってしまう

田中外相更迭劇で見えた官と政の闇を看過してはならない

■光永 マスコミは、先生と鈴木さんが廊下でバトルしたと言っていますか？

■平沢 廊下ではなく自民党国対委員会の部屋です。外にマスコミがいっぱいいる所で鈴木さんが、私が「影の外務大臣」と言っている事がけしからんと。私はその通

りだと思っています(笑)。

(バトルした)もう一つは、私が外務委員会の委員だった時に、李登輝さんの問題で外務省の対応がおかしい、と当時のアジア局長を追求する形となったのですが、局長が鈴木さんに頼んで、私に質問をさせなかったのです。委員である国会議員に国会で質問させないなんて、こんな馬鹿な事は前代未聞です。

鈴木さんは大変な勉強家で行動力もあるが、政治家として、強圧的でごり押しするのはおかしいと思うのです。鈴木さんのひと言

で全てが決まってしまうような外交部会はおかしい。

■司会 外務省で、そのような力を持っている理由が理解できないのですが？

■平沢 外務省というのは、国交省とか郵政のように、選挙の時に力を持っていないから、政治家

にあまり関心を持たなかったのです。そのような中で、組織改革でODAを外務省から切り離そう、となった時に、鈴木さんが働きかけて元に戻してあげた。鈴木さんは職員に夜遅く弁当を届けたり、色んな形で面倒を見ているのです。

■司会 だから影の外務大臣？

■平沢 私は霞ヶ関の外務省が「ムネオハウス」なんだと言っているんです。あそこまで、いち議員が影響力を持つのは例外中の例外です。外務省の職務は国民のためにあるのです。毅然とした態度で、国民の方向を向かなければならないはずですよ。

政治家は国益を考へなければならぬ

■司会 私は十勝出身ですが、鈴木さんの力で駅が良くなりました、感謝する市民もいます。

■平沢 北海道に限らず、橋や駅を持って来てくれたら、地域の活性化につながり感謝される。結果として政治家は、また選挙に勝てる、というのが今までのパ

ターンだった。私はそれを100パーセント否定するわけではありません。国会議員は国益が大切なのです。今評価されるのではなく、10年後、30年後、50年後に評価される政治家にならなければならぬ。たとえ国民世論が反対しても、安保条約の改定もアメリカとの関係の中で、間違っていないければやる。消費税もそうですが、将来のために必要な事は、政策決断で自民党はやって来たのです。国のために何をやったかが、一番大事だと私は考えます。このままいつたら日本は沈没するのではないかと、言われている大変な時ですから。

■光永 国会で政治家が手を上げ、議員立法で上げていく。議会はそのあるべきだと思います。



勝手連・光永会長(右)と上野副会長

プロフィール 平沢勝栄

ひらさわ かつえい



1945年岐阜県生まれ。福島県立福島高等学校卒業後、東京大学法学部に入学。1968年、警察庁に入庁し、警察庁警備局外事課、在外研修(米国デューク大学修士課程修了)、福岡県警察本部警備部外事課長、警察庁警備局公安第三課兼外事課長補佐、外務省在イギリス日本大使館一等書記官などを経験する。防犯警察では、刑事局保安部保安課長、警視庁防犯部長を歴任。岡山県警察本部長、警察庁長官官房審議官、防衛庁長官官房防衛審議官、内閣官房長官秘書官を務める。

1996年、衆院選で東京17区から自民党公認で出馬し初当選。2006年の安倍内閣では内閣府副大臣に就任。2007年には「自民党朝鮮半島問題小委員会」を立ち上げ、幹事に就任した。現、衆議院議員